

平成 28 年度第 2 回岡崎市美術館運営会議 会議録

1 日時 平成 29 年 1 月 20 日（金）午前 10 時～午前 11 時 30 分

2 場所 市役所西庁舎 7 階 702 号室

3 出席者

- (1) 委員 6 名 山下清、太田公典、鈴木章司、清水幹男、天野勝彦、竹本佳子
- (2) 事務局 4 名 石川文化芸術部長、堀江美術館長（美術博物館副館長）、杉山副館長、河合副館長補佐

4 記録

- (1) 本記録は発言の概略を記録した。
- (2) 本記録は発言者名を省略した。

5 議題

(1) 平成 29 年度後期美術館展示室利用予定(案)について

ア 事務局説明

- ・平成 29 年度後期美術館展示室利用仮申込の受付結果により、仮受付件数、仮申込の状況、調整結果等を説明、報告した。

イ 委員の意見と結果

(意見)

- ・第 5 展示室の申込みが多いのはなぜか。以前はそれほど利用されてなかった。
⇒使い勝手がいいと思われる。また元々図書館を改装した展示室であるので、市民ギャラリー的な感覚で、敷居がそれほど高く感じないのではないか。
- ・仮申込後は再募集をするのか。
⇒この運営会議で利用者が決定した後は、空き展示室の利用申込を随時受付している。

(結果)

- ・平成 29 年度前期仮申込について、調整後のとおり決定したい旨の事務局案に対して委員全員の賛同を得た。

(2)平成 28 年度美術館事業報告について

ア 事務局説明

- ・配布資料に基づき、平成 28 年 7 月開催の美術館自主企画展の事業報告について説明した。

イ 委員の意見

(意見)

- ・経営的には展覧会の入場者数をもっと増やさないといけないのではないか。
⇒世界中の美術作品など有名な作家や作品に触れる機会が増えてきたことにより、美術に対する市民の趣向が昔とは変化してきているため、地元作家になかなか目が向かなくなっている。

(3) 平成 29 年度美術館事業計画（案）について

ア 事務局説明

- 配布資料に基づき、平成 29 年年度美術館事業計画（案）について説明した。

イ 委員の意見

（意見）

- 工芸作品の展覧会もしてほしい。工芸の現存作家作品も収蔵してほしい。
⇒立体作品の展示スペースがない。収蔵品もあまりない。また収蔵スペースも不足していて難しい。
- 美術教室受講後、自主サークル等の活動機会や場所はあるか。
⇒それぞれ見つけて活動していると思うが、美術館では紹介等はしていない。
- 美術館の施設内にアトリエ的な場所があるといい。活動したい人たちが集まる場所が美術館だといいと思う。

(4) その他

ア 委員の意見

（意見）

- トリエンナーレを美術館に取り込んだりできないのか。
⇒県主導のイベントで、計画段階での調整はかなり難しい。また地元の作家たちが関わっていない。

(5) 連絡事項

- 来年度で現委員の任期満了を説明した。